

広島大学図書館のニュースをお届けします。

発行：広島大学図書館 www.lib.hiroshima-u.ac.jp



RECOMMEND

春遠からじ、の図書館員レコメンド本

春休みの読書のお供に、図書館員からのおすすめ本をどうぞ。

▶ 聖地になる？名建築

タイトル通り111にも上る日本中の不思議建築が、分類別にカラー写真で紹介されています。分類といっても「店舗」や「美術館」といった形態ではなく、外観の印象で分けてあるのが特徴。例えば江戸東京博物館の分類は”飛び出しすぎ”、広島市西区のお好み焼き館 Wood Eggは”そびえる”。奇抜な建物も、慣れている地元民にはそう感じられなくなるものですね。



日本の不思議な名建築



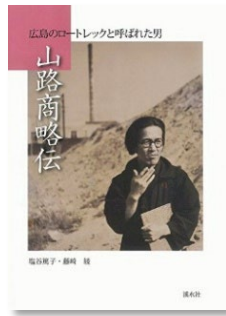
さらに「エクストリーム」に分類されている大阪府立青少年海洋センターは、あの人気漫画の舞台では!? 地図や分布図が掲載されていると、訪ねやすくてなおいです。<とりまる>

日本の不思議な名建築111

加藤純文、傍島利浩写真 エクスナレッジ 2024
523.1/Ka-86 (西図書館3階・開架)

▶ 広島のシュルレアリスト

戦前広島の洋画家山路商の伝記。その前衛的な画風だけで不穏分子として検挙され、それがもとで健康を損ね若くして世を去った画家です。そんな厳しい時代のあったことが胸に迫るとともに、当時、広島市堀川町にあった楽器店の絵には広島ながらパリ（ロートレック）を感じさせます。山路作品を所蔵する広島県立美術館にもぜひ訪れてみてください。学生証で入館できますよ。<FOZ>



山路商略伝：広島のロートレックと呼ばれた男

塩谷篤子、藤崎綾著 溪水社 2014 723.1/Sh-78 (中央図書館2階)

▶ 図書館文芸のアンソロジー

皓星社のシリーズ紙礫（かみつぶて）のラインナップは「街娼」「人魚」「耽美」等々少々面妖ですが、その一つが「図書館」だったとは！ 萩原朔太郎を始めとする主として近代作家の手になる、図書館がテーマの文芸選集は、重厚で荘厳な図書館から始まる物語に入り込んだ不思議な気分させます。

広島図書館学生サポーターHULSによる新春福袋企画の中の一冊でした。慧眼に拍手。<FOZ>



図書館情調：Library & Librarian 日比嘉高編 皓星社 2017

シリーズ紙礫;9 913.68/H-54 (中央図書館2階)

▶ いい感じにすっきりしたい時に

デザインツールの普及でフライヤーなども手軽に作るできるようになりましたが、でもなんだかぴんとこないなあ、という時の参考にどうぞ。

2色では寂しく4色以上だと少し多い、3色というのは意外に絶妙なバランスなのかもしれません。

RGB値とその表示割合が示されていて実用的なのです。ちなみに、本紙今号の配色は同書pt.2を参考にしました。(カラーカテゴリは「positive」!) <FOZ>



3色だけでセンスのいい色

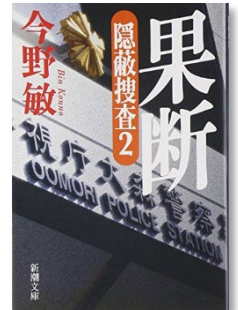
：見てわかる、迷わず決まる配色アイデア

ingectar-e着 インプレス 2020 757.3/I-54 (東千田図書館開架)

▶ 頼りになる上司はこんな人？

主人公竜崎はキャリアの警察官僚です。自らの使命と職責を自覚し、目的遂行のために警察の慣習や体質まで変えようとしています。そのため上司や部下からも「変人」扱いされますが、その合理性と柔軟さ故に頼りにされ、信頼されます。

家族の不祥事で出世街道からはずれ、警察署長に降格となりますが、そこでの活躍が描かれています。部下の力量を見極める眼力を持ち、仕事の優先順位をつけ、無駄で形式的な仕事を排除します。事件解決のため臨機応変に指示を出し、責任を取る覚悟を持った、有能で魅力的な署長です。シリーズは現在10まで刊行されています。<イミイン>



果断 隠蔽捜査2 今野敏著 新潮社 2010

新潮文庫;こ-42-6 913.6/Ko-75 (中央図書館2階・小型)

▶ 千里万里と旅をする切手

敗戦後の沖縄で再開した琉球郵便による琉球切手は、その表記を米軍のB円からドルに変遷させながら、1972年の本土復帰とともに使命を終えた、いわばアメリカ世（ゆー）の証人です。破壊された文化財の図柄を切手に描いた画家を始め多くの県民の思いがこめられていたことを知り、その思いを載せて世界を旅したであろう切手がいとおしくなります。

見出しの「千里万里…」にぴんと来た方はかなりの沖縄通（かつ年配）。<FOZ>



琉球切手を旅する：米軍施政下沖縄の二十七年

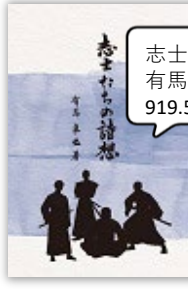
与那原惠著 中央公論新社 2022 693.8/Y-82 (中央図書館2階)

フェニックス文庫の図書がオープンアクセスに

本学教員の著作を集めた中央図書館フェニックス文庫のうち、昨年刊行された2冊の電子版が学術情報リポジトリからオープンアクセスで閲覧できるようになりました。今後も電子版が増えていきますのでご期待ください。

志士たちの詩想
有馬卓也著
919.5/A-72

“技術論”の
源流をたずねて
市川浩著
502.38/I-14



CLIP

今月のデータベース

オンライン版

江戸川乱歩『貼雑年譜』(はりまぜねんぶ)

立教大学大衆文化研究センター所蔵 ジャパンデジタルアーカイブズセンター

江戸川乱歩が収集、整理、保存した膨大な資料が貼り付けられたスクラップ帳です。乱歩自筆のメモ、日記、原稿類のほか、作家や出版関係者からの書簡、映画・演劇のパフレットやプレスシート、国内外の新聞雑誌の切り抜きなど、多岐にわたる2,600点以上の原資料が、乱歩のコメント等とともに台紙に貼り付けられています。

画像は、大正8年に乱歩が本郷区駒込の団子坂に兄弟三人で開業した古本屋「三人書房」のことを書いた日記。主に芸術書を置いたこの店で、乱歩は推理小説の構想を練ったといわれています。そして、この団子坂(=D坂)の古本屋が、明智小五郎が初登場する乱歩の代表作の一つ『D坂の殺人事件』につながります。

←検索はこちらから



自分のことが書かれた新聞や雑誌の切り抜きも多数。まめなエゴサですね。

展示「『もしも』に備える」

中央



集中豪雨や南海トラフ地震など近年災害への警戒が高まっています。防災について学びましょう。

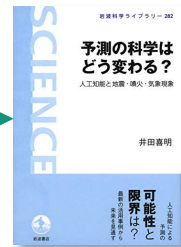


地震—どのように起きるのか
(サイエンスパレット036)
瀬織一 著 丸善出版 2020

電子書籍
(学内限定)



予測の科学は
どう変わる？
人工知能と地震・
噴火・気象情報
井田喜明著
岩波書店 2019



中央図書館2F 519.9/I-18

CALENDAR

3月の開館カレンダー

中央図書館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

東図書館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

西図書館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

霞図書館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

東千田図書館

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

■ 休館
■ 部分開館

詳細な開館時間
はこちら→

